AgileWorks R3

校正・要約機能ガイド

R3.3 第 1 版(2026/07/15)

ATLED

目次／索引

1. はじめに 4
1.1. 本書の目的 4
1.2. 対象読者 4
1.3. 前提条件 4
1.4. 他社登録商標について 4
2. 校正・要約について 5
2.1. 校正・要約とは 5
2.2. 校正・要約の対象 5
3. 事前準備 6
3.1. AP サーバーから通信できる必要のある URL 6
3.2. OpenAI API Key の作成 6
3.3. 管理サイトの設定 6
OpenAI API Key の登録 6
校正・要約の設定 6
テキストエリア 7
モデル設定 10
3.4. プロンプトの例 15
校正プロンプト 15
要約プロンプト 16
4. 校正・要約の実行 17
4.1. 校正・要約 17
4.2. 注意点 19
5. 特記事項 20
5.1. モデルのコスト 20
5.2. タイムアウトの設定 20

◆ 改版履歴

版数	年月日	改版内容
第 1 版	2026 年 07 月 15 日	第 1 版作成

1. はじめに

1.1. 本書の目的

本書は、校正・要約の利用方法について説明します。

1.2. 対象読者

校正・要約をお使いになる AgileWorks 利用者

1.3. 前提条件

- AgileWorks の基本機能と使用を理解していること
- AgileWorks の環境がサポートされているブラウザを利用してください
- AgileWorks クラウド版(R3.1.0 以降)、またはパッケージ版(R3.1.0 以降)にて利用可能です。

1.4. 他社登録商標について

AgileWorks、アジャイルワークスの名称およびロゴは株式会社エイトレッドの商標および登録商標です。
Microsoft、MS-DOS、Windows は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
OpenAI、ChatGPT、GPT は OpenAI Inc.および OpenAI OpCo, LLC の商標および登録商標です
本書では、©、®、(TM)の表示を省略しています。ご了承ください。

2. 校正・要約について

この章では、AgileWorks の校正・要約について説明します。

2.1. 校正・要約とは

校正・要約とは、テキストエリアの内容を校正または要約する機能を指します。
テキストエリアに文字を入力し、校正もしくは要約アイコンを押下すると、校正もしくは要約をすることができます。

2.2. 校正・要約の対象

・フィールド
校正・要約の対象となるフィールドはテキストエリアのみです。
それ以外のフィールドは校正・要約の対象外です。

・校正・要約アイコンの表示有無設定
校正アイコン、要約アイコンをそれぞれ「表示する」に設定することで校正・要約機能を使用することができます。

設定は以下で行うことができます。
【管理サイト】-【サイト管理】-【サイト共通設定】-【AI 連携】-【校正・要約】-【テキストエリア】-【校正アイコン】
【管理サイト】-【サイト管理】-【サイト共通設定】-【AI 連携】-【校正・要約】-【テキストエリア】-【要約アイコン】

・対象フォーム
校正・要約機能を使用するフォームを指定することができます。
デフォルトは全てのフォームで使用することが可能です。

設定は以下で行うことができます。
【管理サイト】-【サイト管理】-【サイト共通設定】-【AI 連携】-【校正・要約】-【テキストエリア】-【対象フォーム】

3. 事前準備

この章では、校正・要約機能を使用する前に必要な設定や準備を説明します。

3.1. AP サーバーから通信できる必要のある URL

R3.1.1a 以降では AI 連携設定にて最新のモデル情報などを自動取得するため以下の URL へ接続できる必要があります。

・https://agileworks-api.atledcloud.jp/prod/AIModel

3.2. OpenAI API Key の作成

・OpenAI
以下の URL から OpenAI のアカウントを作成し、OpenAI API Key を発行してください。
https://platform.openai.com

・Azure OpenAI Service
Microsoft Azure ポータルにログインし、Azure OpenAI の設定をしてください。
https://portal.azure.com

3.3. 管理サイトの設定

OpenAI API Keyの登録

2.1 で作成した OpenAI API Key を以下に登録します。
【管理サイト】-【サイト管理】-【サイト共通設定】-【AI 連携】-【API Key】-【登録】

校正・要約の設定

以下より校正・要約の項目を設定します。
【管理サイト】-【サイト管理】-【サイト共通設定】-【AI 連携】-【校正・要約】

▼【管理サイト】-【サイト管理】-【サイト共通設定】-【AI 連携】-【校正・要約】-【テキストエリア】



▼【管理サイト】-【サイト管理】-【サイト共通設定】-【AI 連携】-【校正・要約】-【モデル設定】



テキストエリア

テキストエリアへの校正・要約を設定します。

校正機能

・校正アイコン
校正アイコンの表示有無を設定することができます。「表示する」に設定することで、校正機能を使用することができます。デフォルトは「表示しない」が設定されています。

・校正プロンプト
テキストエリアに入力した内容をどのように校正したいか設定することができます。
**必ず「$textArea」を入力してください。**$textArea は校正前のテキストエリアの内容を表しています。
校正アイコンを「表示する」に設定している場合、入力必須です。

例 ：

「$textArea」をフォーマルな文章で校正してください

上記例のように設定した上でテキストエリアに以下の内容を入力した場合、以下のプロンプトが生成され、OpenAI または Azure OpenAI にリクエストを渡します。
▼テキストエリアの内容

07/17 に私用のため有休をいただきます。申し訳ありませんがよろしくお願いいたします。

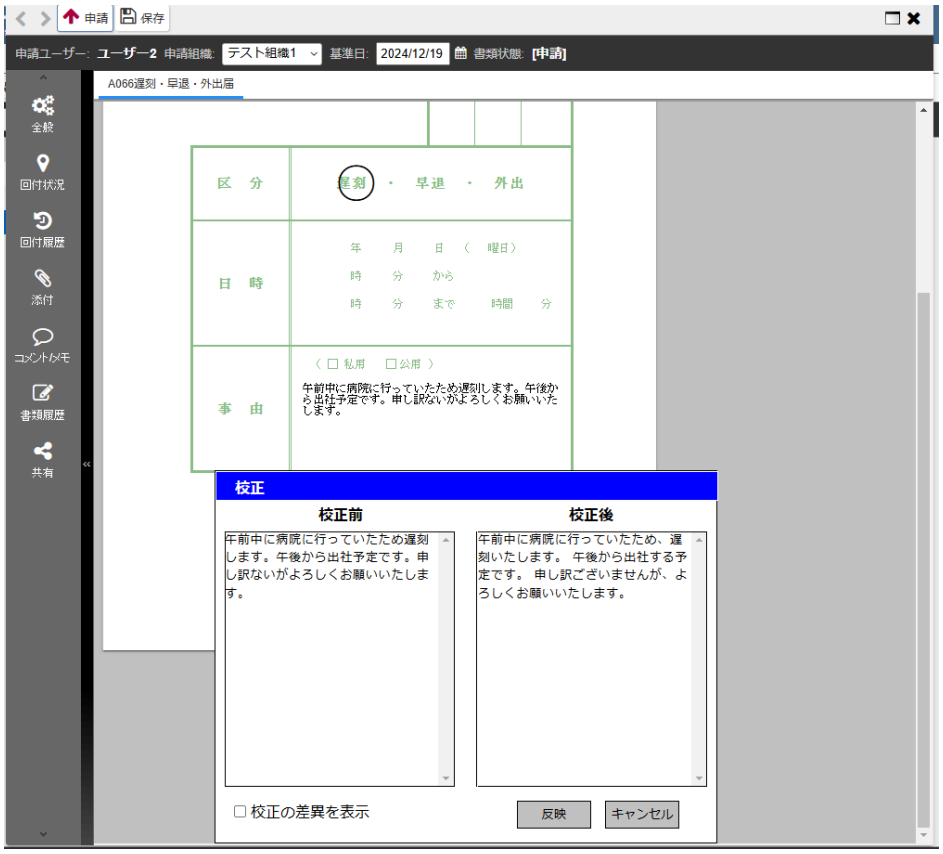
▼OpenAI または Azure OpenAI にリクエストされる内容(テキストエリアの最大入力文字数指定なし)

「07/17 に私用のため有休をいただきます。申し訳ありませんがよろしくお願いいたします。」をフォーマルな文章で校正してください。

▼OpenAI または Azure OpenAI にリクエストされる内容(テキストエリアの最大入力文字数指定あり　※最大入力文字数は 100 文字)

「07/17 に私用のため有休をいただきます。申し訳ありませんがよろしくお願いいたします。」をフォーマルな文章で校正してください。(100 文字以内で回答してください)

・校正内容の差分表示
校正内容の差分表示の使用有無を設定することができます。「使用する」に設定することで、校正前の内容と校正後の内容を比較することができます。



「校正の差異を表示」にチェックを入れることで、校正前の内容と校正後の内容の差分が可視的に分かります。



要約機能

・要約アイコン
要約アイコンの表示有無を設定することができます。「表示する」に設定することで、要約機能を使用することができます。デフォルトは「表示しない」が設定されています。

・要約プロンプト
テキストエリアに入力した内容をどのように要約したいか設定することができます。
**必ず「$textArea」を入力してください。**$textArea は要約前のテキストエリアの内容を表しています。
要約アイコンを「表示する」に設定している場合、入力必須です。

例 ：

「$textArea」を小学 5 年生が分かるように要約してください

上記例のように設定した上でテキストエリアに以下の内容を入力した場合、以下のプロンプトが生成され、OpenAI または Azure OpenAI にリクエストを渡します。

▼テキストエリアの内容

人工知能の研究は 1950 年代から始まり、過去に何度かのブームと低迷期がありました。

▼OpenAI または Azure OpenAI にリクエストされる内容(テキストエリアの最大入力文字数指定なし)

「人工知能の研究は 1950 年代から始まり、過去に何度かのブームと低迷期がありました。」を小学 5 年生が分かるように要約してください

▼OpenAI または Azure OpenAI にリクエストされる内容(テキストエリアの最大入力文字数指定あり　※最大入力文字数は 100 文字)

「人工知能の研究は 1950 年代から始まり、過去に何度かのブームと低迷期がありました。」を小学 5 年生が分かるように要約してください(100 文字以内で回答してください)

・対象フォーム

校正・要約機能を使用するフォームを指定することができます。
デフォルトは全てのフォームで使用することが可能です。

> ⚠ 注意事項
> 校正・要約機能を使用するほど OpenAI または Azure OpenAI Service のコストがかかります。
> そのため、対象フォームを「指定する」にして、校正・要約機能を使用できるフォームを限定することを推奨します。

モデル設定

・サービス

校正・要約をするにあたって、どの AI サービスを使用するかを選択することができます。
OpenAI、Azure OpenAI Service のいずれかを選択することができます。
デフォルトは OpenAI が選択されています。

・エンドポイントURL

OpenAI または Azure OpenAI Service にリクエストする URL を指定します。
デフォルトは「https://api.openai.com/v1/chat/completions」が設定されています。(OpenAI のエンドポイント URL)

Azure OpenAI Service を使用する場合は、以下のフォーマット通りに入力してください。

```
https://{endpoint}/openai/deployments/{your-deployment-name}/chat/completions?api-version={api-version}
```

{endpoint} ： エンドポイント
Azure OpenAI または Azure OpenAI Studio から確認することができます。

{your-deployment-name} ： デプロイ名称
「Azure OpenAI Studio ＞ 管理 ＞ デプロイ ＞ デプロイ名」を入力してください

{api-version} ： API バージョン
以下 URL を開き、「最新の GA リリース」から最新の API バージョンを確認することができます。
https://learn.microsoft.com/ja-jp/azure/ai-services/openai/reference-preview#api-specs

例
エンドポイント、デプロイ名称、API バージョンが以下の場合、エンドポイント URL は以下のようになります。
エンドポイント:test.openai.azure.com
デプロイ名称:deploy-test
api-version:2024-06-01

https://test.openai.azure.com/openai/deployments/deploy-test/chat/completions?api-version=2024-06-01

・モデル

校正・要約を行うのに使用するモデルを設定することができます。
以下のモデルを使用することができます。
（R3.1.1a、2025 年 06 月 30 日時点での情報です）

gpt-4o-mini
gpt-4
gpt-4o
o1
o1-preview
o1-mini
o3-mini

・最大トークン数

リクエストに渡すプロンプトの入力トークン数と、レスポンスで返される校正・要約内容の出力トークン数の合計を設定することができます。モデルによって設定可能な値が異なります。入力は任意であり、入力範囲はモデルによって異なります。

▼最大トークン数の入力範囲（R3.1.1a、2025 年 06 月 30 日時点での情報です）

モデル	入力範囲
GPT-4o mini	1~16384
GPT-4o	1~16384
GPT-4	1~8192
o1	1~100000
o1-preview	1~32768
o1-mini	1~65536
o3-mini	1~100000

※Models - OpenAI API の max output tokens が基本になります。

・内容のランダム性(temperature)

校正・要約後の内容にどの程度一貫性を持たせるかを設定することができます。
この値が小さいほど校正・要約後の内容が一貫され、この値が大きいほどさまざまな表現で校正・要約後の内容を表示します。
入力は任意であり、入力範囲は 0.0～2.0 です。

例
▼校正プロンプト

```
$textArea

上記の文章を、制約条件をもとに校正してください。
#制約条件
・文章を省略しないでください。
・架空の表現や慣用句など、付け足してください。
```

▼テキストエリアの内容

```
07/17 に私用のため有休をいただきます。申し訳ありませんがよろしくお願いいたします。
```

・入力値が 0.0 の場合
▼校正後の内容

```
07/17 に私用のため有休をいただきます。ご迷惑をおかけして申し訳ありませんが、何卒よろしくお願いいたします。
```

temperature の値が小さいほど、プロンプトの内容が同じ場合、校正または要約後の内容は変わらない傾向があります。

・入力値が 1.0 の場合
▼校正後の内容（回答例 1）

```
7 月 17 日に私用のため有休を取らせていただきます。急で申し訳ありませんが、何卒よろしくお願いいたします。
```

▼校正後の内容（回答例 2）

```
07/17 に私用のため有休をいただきます。誠に申し訳ありませんが、何卒よろしくお願いいたします。何かご不明点やご対応いただくことがございましたら、ご連絡ください。お手数をおかけいたしますが、どうぞよろしくお願い申し上げます。今後ともよろしくお願いいたします。
```

temperature の値が大きいほど、プロンプトの内容が同じ場合でも、回答内容が変わる傾向があります。

⚠ 注意事項
Temperature に大きい値(おおよそ 1.2 以上)を設定した場合、以下の状態になる可能性があります。
・校正・要約後の内容にさまざまな単語が用いられるため、適切に校正・要約ができない。
・校正・要約の処理に時間がかかる。
そのため、設定する場合は適切な値を設定してください。

・内容のランダム性(top_p)

校正・要約後の内容をどの程度まで対象にするかを設定することができます。
この値が小さいほど校正・要約後の内容が一貫され、この値が大きいほどさまざまな表現で校正・要約後の内容を表示します。
入力は任意であり、入力範囲は 0.0～1.0 です。

例
▼校正プロンプト

```
$textArea

上記の文章を、制約条件をもとに校正してください。
#制約条件
・文章を省略しないでください。
・架空の表現や慣用句など、付け足してください。
```

▼テキストエリアの内容

```
07/17 に私用のため有休をいただきます。申し訳ありませんがよろしくお願いいたします。
```

例
・入力値が 0.0 の場合
▼校正後の内容

```
07/17 に私用のため有休をいただきます。申し訳ありませんが、何卒よろしくお願いいたします。
```

top_p の値が小さいほど、プロンプトの内容が同じ場合、校正または要約後の内容は変わらないこと傾向があります。

・入力値が 1.0 の場合
▼校正後の内容（回答例 1）

```
07/17 に私用のため有休をいただきます。誠に申し訳ありませんが、何卒よろしくお願いいたします。ご迷惑をおかけすることとなり、深くお詫び申し上げます。
```

▼校正後の内容（回答例 2）

```
07/17 に私用のため、有休をいただきます。誠に勝手ではありますが、どうかご理解とご協力のほど、よろしくお願いいたします。
```

top_p の値が大きいほど、プロンプトの内容が同じ場合でも、回答内容が変わる傾向があります。

⚠ 注意事項
内容のランダム性(temperature)と内容のランダム性(top_p)を両方変更することは推奨されていません。どちらかを設定し、適切に校正・要約されているかを確認した上で適切な値を設定してください。

・ペナルティ(frequency_penalty)

校正・要約時に利用した単語の出現回数を算出し、その頻度に応じてペナルティを与えます。
この値が小さいほど校正・要約後の内容に同じ単語や文字列を表示し、この値が大きいほどさまざまな単語をできるだけ使用しながら校正・要約を行います。
入力は任意であり、入力範囲は-2.0～2.0 です。

例
▼校正プロンプト

```
$textArea

上記の文章を、制約条件をもとに校正してください。
#制約条件
・文章を省略しないでください。
・架空の表現や慣用句など、付け足してください。
```

▼テキストエリアの内容

```
X 地区での取引先訪問および新規プロジェクトの打ち合わせのための出張
```

・入力値が-2.0 の場合
▼校正後の内容

```
X 地区での取引先訪問および新規プロジェクトの打ち合わせのための出張のためのののののの
```

・ペナルティ(presence_penalty)

校正・要約時に利用した単語がすでに出現しているかを確認し、すでに出現した場合は再度出現しないようにペナルティを与えます。
この値が小さいほど校正・要約後の内容に同じ内容が含まれやすくなり、この値が大きいほど校正・要約後の内容に同じ内容が含まれなくなります。
入力は任意であり、入力範囲は-2.0～2.0 です。

▼校正プロンプト

```
$textArea

上記の文章を、制約条件をもとに校正してください。
#制約条件
・文章を省略しないでください。
・架空の表現や慣用句など、付け足してください。
```

▼テキストエリアの内容

2010 年代からは、深層学習（Deep Learning）の発展が AI の進化を加速させました。深層学習は、多層のニューラルネットワークを使用して、高度なパターン認識や予測を行う能力を持つようになりました。これにより、画像認識や自動運転、自動翻訳などの分野で大きな進展が見られるようになりました。

現在では、AI 技術は私たちの生活のさまざまな領域に広く適用され、医療、交通、金融、エンターテインメントなどで重要な役割を果たしています。また、AI の倫理や社会的影響に関する議論も深まっており、今後の発展がますます注目されています。

例
・入力値が-2.0 の場合
▼校正後の内容

2010 年代からは、深層学習（Deep Learning）の発展が AI の進化を加速させました。深層学習は、多層のニューラルネットワークを使用して、高度なパターン認識や予測を行う能力を持つようになりました。これにより、画像認識や自動運転、自動翻訳などの分野で大きな進展が見られるようになりました。現在では、AI 技術は私たちの生活のさまざまな領域に広く適用され、医療、交通、金融、エンターテインメントなどで重要な役割を果たしています。まさに、AI の進化は日進月歩で、私たちの生活に深く根付きつつあります。また、AI の倫理や社会的影響に関する議論も深まっており、今後の発展がますます注目されています。

presence_penalty の値が小さいほど、校正または要約後の内容に使用するフレーズが重複する傾向があります。

・入力値が 2.0 の場合
▼校正後の内容

2010 年代からは、深層学習（Deep Learning）の発展が AI の進化を加速させました。これにより、多層のニューラルネットワークを使用して、高度なパターン認識や予測を行う能力が飛躍的に向上しました。それを背景に、画像認識、自動運転、自動翻訳などの分野で大きな進展が見られるようになりました。現在では、AI 技術は私たちの生活のあらゆる側面に広く適用されており、医療、交通、金融、エンターテインメントなどで重要な役割を果たしています。また、その力強い進化とともに、AI の倫理や社会的影響についての議論も一層深まってきています。このため、今後の AI の発展がますます注目されています。このように、AI の驚異的な進化には期待が高まりますが、それと同時に、新たな課題も浮かび上がっています。人々はその可能性を活かす一方で、慎重にバランスを取る必要があります。未来への鍵を握るのは、技術のみならず、人間自身の知恵と責任感なのです。

presence_penalty の値が大きいほど、校正または要約後の内容に使用するフレーズが重複しない傾向があります。

3.4. プロンプトの例

以下は【管理サイト】-【サイト管理】-【サイト共通設定】-【AI 連携】-【校正・要約】-【テキストエリア】で設定する校正プロンプト、要約プロンプトの例です。

校正プロンプト

{$textArea}をビジネスマナーに則って校正してください
次の内容の文法チェックをしてください。{$textArea}
$textArea 上記の文章を、制約条件をもとに校正してください。 #制約条件 ・文章を省略しないでください。 ・架空の表現や慣用句など、付け足してください。
「$textArea」に不自然な表現があれば修正してください
以下の内容に含まれている誤字脱字を修正し、かつ論理的な文章になるように修正してください。 $textArea
あなたは優秀なライターです。以下の内容を論理的かつ美しい表現に校正してください。 「$textArea」
{$textArea}を読みやすくなるように推敲してください。
$textArea 上記の内容の誤字脱字および文法に不備があれば修正してください。また、文章の流れを変えず、スムーズな読みやすさを保っている状態にしてください
「$textArea」を以下の条件を満たした状態で修正してください。 ・誤字脱字をなくすこと ・冗長な表現があれば簡潔な表現にすること ・誤りな表現があれば修正すること ・箇条書きで校正すること
「$textArea」に冗長な表現があれば簡潔に表現してください

要約プロンプト

{$textArea}を一文で要約してください。
「$textArea」を次の観点で要約してください。 ・200 文字以内 ・「です」「ます」調
以下の文章を英語で簡潔に要約してください。 $textArea
{$textArea}を以下の点に留意して要約してください。 ・原文の主要な内容と意味が正確に反映されていること ・結論が論理的に伝わる構成になっていること ・200 文字以内であること
以下の内容を英語で要約してください。 $textArea
「$textArea」を以下の条件に従って要約してください。 ・重要なキーワードを除去しない ・文章の意味を変更しない ・架空の表現や言葉を使用しない
以下の文章の主要なポイントを 3 つ挙げてください 「$textArea」
「$textArea」の背景、文脈、意図を要約してください。
{$textArea}の文章を以下の制約条件に従って要約してください。 #制約条件 ・200 文字以内 ・結論から伝えること ・文章の意味を変えない ・「です」「ます」調 ・箇条書き
以下の内容を日本語で、かつ文章の意味を変えずに要約してください。 # 入力文 $textArea

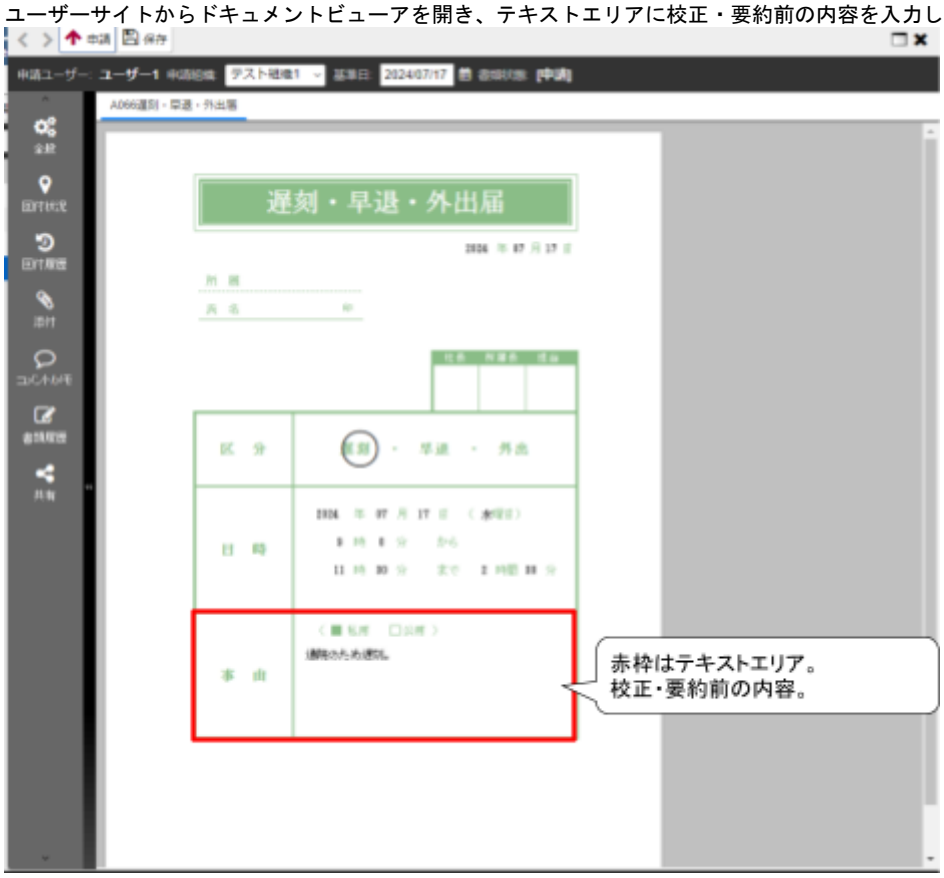
4. 校正・要約の実行

この章では、校正・要約の実行について説明します。

4.1. 校正・要約

校正・要約の使用方法について説明します。
以下の流れで校正・要約を行います。

ユーザーサイトからドキュメントビューアを開き、テキストエリアに校正・要約前の内容を入力します。



テキストエリアをダブルクリックし、校正アイコンもしくは要約アイコンを押下します。



校正または要約後の内容が表示されます。



「反映」を押下すると、テキストエリアに校正または要約後の内容が反映されます。



4.2. 注意点

- 校正・要約後の内容が必ず正しいとは限りません。校正・要約後の内容が適切であるか判断した上でテキストエリアに反映してください。
- 校正・要約機能を短時間でたくさん使用した場合、API レート制限超過のため 400 エラーまたは 429 エラーが発生することがあります。この場合、一定時間校正・要約機能を使用しないことで解決します。
- 校正プロンプト、要約プロンプト、校正・要約前のテキストエリアのトークン数がそれぞれ多い場合、400 エラーが発生する可能性があります。この場合、プロンプトや校正・要約前のテキストエリアのトークン数を減らすことで解決します。
  - ➢ 以下 URL でトークン数を確認することができます。
    https://platform.openai.com/tokenizer
  - ➢ トークン数 ： 日本語は 1 トークンあたりおおよそ 1 文字、英語は 1 トークンあたりおおよそ 1 単語です。
- 管理サイトの設定項目で以下のように設定すると、校正・要約の処理に時間がかかり、タイムアウトが発生する可能性があります。そのため、適切な値を設定してください。
  - ➢ 「内容のランダム性(temperature)」の値が大きい（おおよそ 1.2 以上）
  - ➢ 「ペナルティ(frequency_penalty)」の値が小さい
- マスタ参照コンポーネントを設定しているテキストエリアの内容を校正・要約することはできません。
- テキストエリアの最大入力文字数の値が小さすぎる場合、校正・要約後の内容がすべて表示されない可能性があります。そのため、テキストエリアの最大入力文字数を適切な値に設定してした上で校正・要約を行ってください。
- temperature、top_p、frequency_penalty、presence_penalty についてはサポートされている GPT-4o mini、GPT-4o、GPT-4 のみ適用され、それ以外のモデルについては適用されません。
- 使用しているモデルが削除された場合、機能実行時エラーになります。新しいモデルを管理サイトから設定してください。
- 既に削除されたモデルが設定された状態で管理画面を開くと、以下のアラートが表示されます。
  「$モデル名称$は削除されています。設定されているモデルは保存を押さないと反映されません。」
  この場合、新しいモデルを選択した状態で保存ボタンを押して設定を明示的に保存してください。
- 最大トークン数は下限値まで設定ができますが、ある程度の値でないと回答の表示が行われません。

5. 特記事項

5.1. モデルのコスト

校正・要約を使用する場合、使用するモデルによってコストが異なります。
どのくらいコストがかかるのかを確認した上で、使用するモデルを選択してください。

具体的なコストは以下 URL をご確認ください。

・OpenAI
https://openai.com/api/pricing

・Azure OpenAI
https://azure.microsoft.com/en-us/pricing/details/cognitive-services/openai-service/

5.2. タイムアウトの設定

校正・要約の処理に時間がかかり、AgileWorks の他の機能が使用できなくなるのを防ぐために、agileworks_system.properties でタイムアウトを設定することができます。設定したタイムアウト値以内に校正・要約の処理が終わらない場合はタイムアウトになります。

設定キー	データの型	説明
OpenAI.connect.timeout.millisecond	数値	OpenAI API にリクエストを送信する際に接続タイムアウトを設定することができます。単位は ms です。デフォルトは 5000 です。
OpenAI.read.timeout.millisecond	数値	OpenAI API にリクエストを送信する際に読み込みタイムアウトを設定することができます。単位は ms です。デフォルトは 45000 です。
AzureOpenAI.connect.timeout.millisecond	数値	Azure OpenAI API にリクエストを送信する際に接続タイムアウトを設定することができます。単位は ms です。デフォルトは 5000 です。
AzureOpenAI.read.timeout.millisecond	数値	Azure OpenAI API にリクエストを送信する際に読み込みタイムアウトを設定することができます。単位は ms です。デフォルトは 45000 です。